

「支援自動販売機」の売上の5%を大阪ユニセフ協会へ寄付

～ ユニセフ協力活動を支援 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、12月13日、大阪ユニセフ協会に寄付をしました。

当金庫は、大阪ユニセフ協会の活動を支援し、地域社会の持続的発展に貢献するため、自動販売機による飲料の売上の5%を同協会に寄付する「支援自動販売機」を令和3年5月から営業店9カ店および本部に設置しています。

このたび、自動販売機設置から約6カ月間の売上の5%にあたる金額を大阪ユニセフ協会に寄付しました。

当金庫は、河村会長が同協会の常務理事を務めるほか、ウォーキングやバザー、コンサートなどのチャリティイベントに積極的に協賛・参加し、同協会の活動を支援しています。

当金庫は今後とも、「信頼で地域とつながる」のスローガンのもと、同協会の活動を支援し、SDGs達成に向けて取り組んでまいります。

記

1. 寄付先
大阪ユニセフ協会
2. 寄付金額
96,840円
3. 設置店舗
西支店、住道支店、上小阪支店、
日本橋支店、加島支店、御厨支店、
吉田支店、初芝支店、枚岡支店、
本部（職員専用食堂内）
4. ユニセフについて
 - (1) ユニセフ（国際連合児童基金）は国連の機関のひとつで、子どもたちの生命と健やかな成長を守るために幅広い活動を行っています。
 - (2) 大阪ユニセフ協会は、日本ユニセフ協会の協定地域組織として、大阪府内を中心にユニセフ協力活動を行っています。



店舗前に設置されている
支援自動販売機

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

